

行方市

情報発信



Namegata City Gallery Open

行方市の魅力を伝える「情報発信基地 なめがたシティギャラリー」がオープン！

温暖で災害も

少なく霞ヶ浦と

北浦というふた

つの湖に囲まれ、

美しい自然が自

慢の行方市。し

かし一方では若者

の都市部への流失

や少子化、そし

て約28%という超高齢化に伴う死亡率の上昇による人口減少が顕著となっています。

このような状況を改善するために、本市の有する多様な地域資源の存在をアピールすることを目的として「なめがたシティギャラリー」をオープンしました。

開店したのは東京都内の「とうきょうスカイツリー駅前事務所」「浅草かつば橋本通り事務所」、水戸市内の「水戸白梅センター」、水戸泉町共同センター」の4店舗。従来型のアンテナショップとは異なり、市民の交流機会の創出や、買い物弱者支援に加え、特産品展示販売などを、それぞれの立地条件を生かしたコンセプトのもと展開していきます。

【問い合わせ】企画政策課（麻生庁舎）

TEL 0299-72-0811



都内2店舗のスタッフのみなさん

NCGとうきょうスカイツリー駅前事務所 (東京都墨田区業平 1-12-3)

日本がそして世界が注目する東京スカイツリーから徒歩5分程度の好立地。最寄り駅のとうきょうスカイツリー駅には商業、エンターテインメント、文化、オフィス施設を備えた新名所「東京ソラマチ」がオープンし、スカイツリーの見学とともに多くの観光客が集まる。情報発信拠点となる事務所として農畜水産物、特産品等の地域資源の展示販売のほか、産地と企業、さらには企業同士の連携を推進し、企業誘致やIターン・Jターンを通じた地域活性化につなげていきます。



スカイツリー駅のすぐ近くです

手踊りを披露してくれた蒲縄地区の皆さん



外国人観光客も多い浅草にオープン。他店舗と同様に地域資源の農畜水産物、特産品等の販売をするほか、交流機会の創出にも力を入れています。7月7日にはPRイベントとして「下町七夕まつり」で大麻神社（麻生地区）祭礼のはやしや手踊りを披露したほか、7月18日には地元商店街の方を行方市に招き「かっぱと山百合の里交流事業」を実施。山百合の里を訪れた後、行方の食を味わっていただいたほか、市民同士の交流も行われました。今後も地域間交流の機会を増やしていきます。

NCGかっぱ橋本通り（公西会商店街）事務所 (東京都台東区西浅草 3-3-4)



かっぱと山百合の里交流事業

行方市の魅力創出 にご協力を！

行方市では、
なめがたシティ
ギャラリーでの農



産物・特産品等の展示をと
おして、市内地域資源の魅
力情報を発信しています。

ポジティブリスト制度に基づ
く生産履歴や各種法令に基づ
く表示のできる品物を条件に
展示販売をするものです。需
要のある品物については継
続した展示を予定していま
す。ご希望のある方は下記
までお問い合わせください。

行方市地域資源PR取扱センター

TEL 0299-95-9383

NCG水戸白梅センター（水戸市白梅 4-6-54）

愛称は「食彩健康サロン 弐湖の国」。地域の交流拠点を目指し、休憩スペースを他店舗より充実させています。毎週火曜日には行方



新鮮な野菜が並ぶ店内

市と茨城保健生協が共同で「出前健康チェック」を行っています。内容は血圧や骨密度の測定、認知症予防体操などで、チェック後には店内の栄養豊富な食材を健康づくりに役立ててもらうことも目標としています。

NCG水戸泉町共同センター（水戸市泉町 2-3-7）

水戸市泉町商店街にある店舗です。行方市民有志が農産物の販売をメインに行うほか、農家の女性グループ手作りの惣菜等も扱っています。荷物が多くて持ち運びが困難なお客様には配達サービスも行っていく予定です。情報発信とともに買い物弱者支援と地域の交流機会の創出に取り組んでいきます。



新鮮な行方野菜を展示・販売